

アロハ CTI エンジン II 取扱説明書

2024 年 12 月 1 日
株式会社 日辰電機製作所

目次

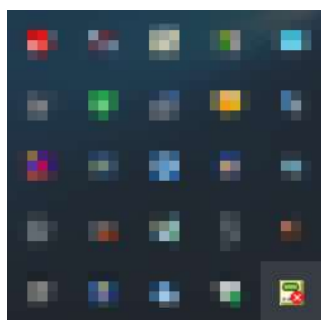
1	アロハ CTI エンジン II の起動	3
2	アロハ CTI エンジン II の終了	4
2.1	スタートメニューから終了	4
2.2	タスクトレイのアイコンから終了	4
3	プロダクトキーの登録	5
4	設定	6
4.1	接続	6
4.1.1	接続方法	6
4.1.2	管理コード設定対象ポート選択	8
4.1.3	管理コード設定の実行	9
4.2	連動	10
4.2.1	ブラウザ/コマンド	10
4.2.2	テキスト	13
4.2.3	クリップボード	15
4.3	起動	16
5	接続するハード機器「アロハ ND5 又は ND6」による機能比較	17
6	動作環境	18

1 アロハ CTI エンジン II の起動

- 1.1 アロハ CTI エンジン II をインストール後、スタートメニューに、「アロハ CTI エンジン II 起動」が追加されるので、[アロハ CTI エンジン II 起動] をクリックします



- 1.2 タスクトレイにアロハ CTI エンジン II のアイコンが追加されます



- 1.3 アプリケーションの起動メッセージがバルーン/トーストで表示されます



2 アロハ CTI エンジン II の終了

2.1 スタートメニューから終了

2.1.1 スタートメニューに、「アロハ CTI エンジン II 停止」をクリックします

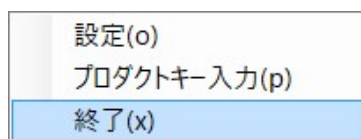


2.1.2 アプリケーションの終了メッセージがバルーン/トーストで表示されます

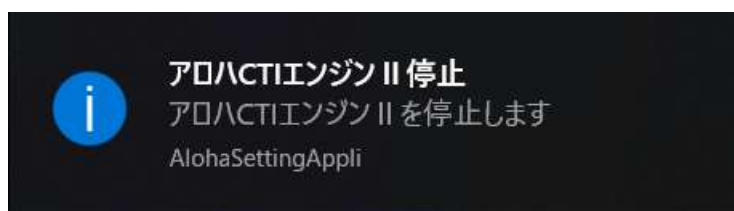


2.2 タスクトレイのアイコンから終了

2.2.1 アイコンを右または左クリックするとショートカットメニューが表示されます

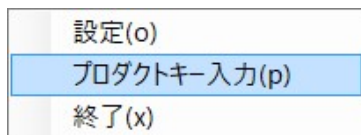


2.2.2 ショートカットメニューの[終了(x)]をクリックするとアプリケーションの終了メッセージがバルーン/トーストで表示されます

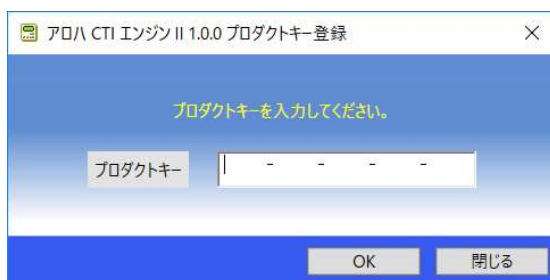


3 プロダクトキーの登録

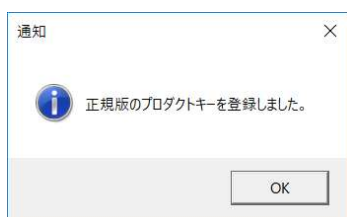
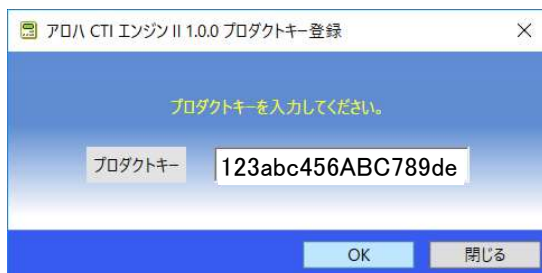
- 3.1 タスクトレイのアロハ CTI エンジン II のアイコンを右または左クリックするとショートカットメニューが表示されます



- 3.2 [プロダクトキーの入力(p)]をクリックする「アロハ CTI エンジン II プロダクトキー登録」画面が表示されます



- 3.3 プロダクトキーを入力して、【OK】ボタンを押下すると、プロダクトキーが登録されて、アロハ CTI エンジン II が使用できるようになります。



※初めてプロダクトキーを登録した場合に限り、PC に接続中のアロハ ND6 を検索して自動で設定と接続を行います

4 設定

タスクトレイのアロハ CTI エンジン II のアイコンの[設定]をクリックするとアロハ CTI エンジン II の設定画面が表示されるので、設定画面にてアロハ CTI エンジン II の設定を行います。

4.1 接続

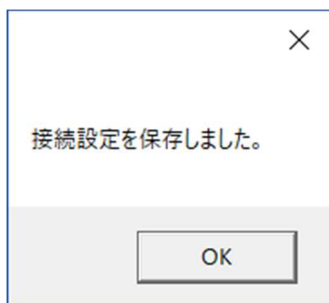
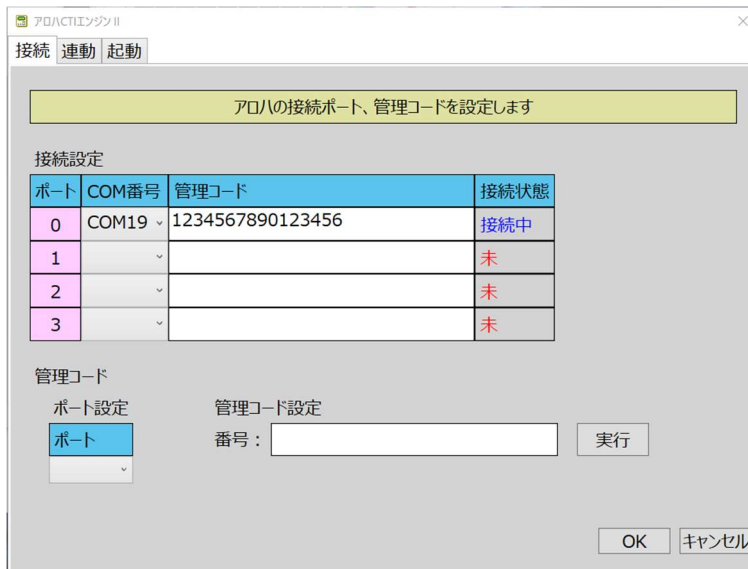
ポート	COM番号	管理コード	接続状態
0			未
1			未
2			未
3			未

【OK】 ボタンを押下すると接続設定が保存され、保存された設定でアロハ ND6 と接続を試みます。

4.1.1 接続方法

ポート	COM番号	管理コード	接続状態
0			未
1			未
2	COM1 COM19		未
3	TEST		未

ドロップダウンリストから接続を行いたいアロハ ND6 の COM 番号を選択し、【OK】 ボタンを押下します



設定保存メッセージが表示され、ポートの接続状態が更新と接続したアロハ ND6 の管理コード(アロハ ND6 に設定済の場合)の表示が行われます

※アプリケーションの起動時に、接続設定を保存済みのアロハ ND6 に対して接続を試みますが、USB プラグが抜けていた場合など PC がアロハ ND6 を認識できない場合には、対象ポートの接続設定がリセットされます

※電話着信中(ベル鳴動)に、本ソフトを起動又は接続画面の **OK** ボタンを押下すると、接続設定が未接続になることがあります。電話着信がないときに **OK** ボタンにて接続設定を行ってください。

※PC 環境により、接続設定完了まで時間がかかる場合があります。



電話番号発信シミュレータと接続する場合は、COM 番号で[TEST]を選択します
 ※電話番号発信シミュレータとの接続はポート 0 のみ可能です

4.1.2 管理コード設定対象ポート選択



管理コードを設定するポート番号を 0～3 から選択します

4.1.3 管理コード設定の実行



ポート設定で管理コードを設定するポート番号を選択し、[番号]のテキストボックスに設定したい管理コードを入力した状態で、【実行】ボタンを押下します



選択したポートに接続中のアロハ ND6 に管理コードが設定され、接続設定の[管理コード]に設定された管理コードが表示されます
管理コードの設定は、アロハ ND6 と接続中の場合のみ行えます

4.2 連動

4.2.1 ブラウザ／コマンド

電話着信時に、指定の URL や指定のコマンドを実行したいときは、[連動]タブの「ブラウザ／コマンド」画面にて設定を行います

【OK】 ボタンを押下するとブラウザ／コマンド連動設定が保存されます

ポート	連動設定
0	
1	
2	
3	

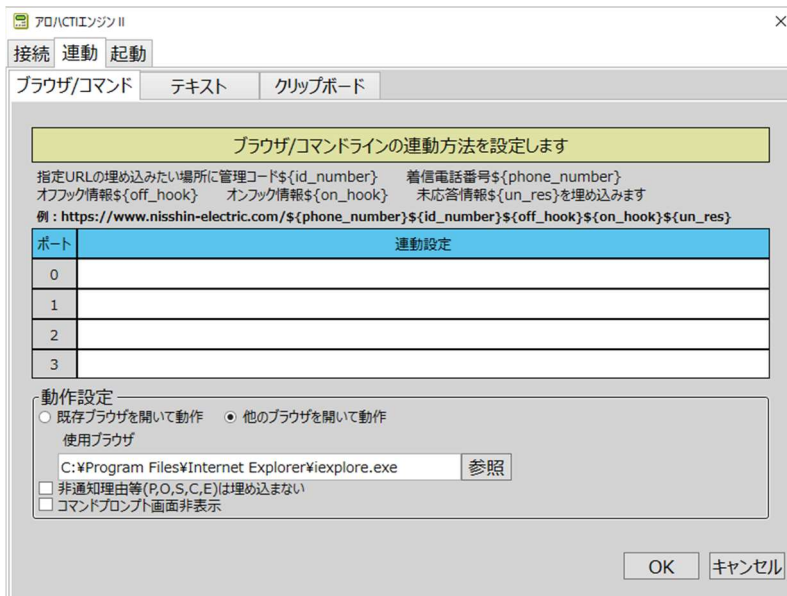
4.2.1.1 ブラウザ連動

電話着信時に指定の URL を実行したい場合は[連動設定]に URL を設定します

URL 内の埋込対象文字列($\{phone_number\}$ 等)に着信情報を埋め込み、ブラウザで開きます

URL に埋込対象文字列が存在しない場合は、ブラウザ連動を行いません

4.2.1.1.1 動作ブラウザの変更



「既存ブラウザを開いて動作」を選択すると、PCにて設定しているデフォルトブラウザを使用して、表示を行います。

「他のブラウザを開いて動作」を選択すると、使用ブラウザが選択出来るようになりますので、使用したいブラウザの exe ファイルを選択して下さい

4.2.1.2 コマンドライン連動

電話着信時に指定のコマンドを実行したい場合は[連動設定]にコマンドを設定します

コマンドは、プログラムファイルパス名とその後ろにパラメータを付けたものです

例 : "C:¥Test01.exe" -param1 \${phone_number}

この例では

「C:¥Test01.exe」 がプログラムファイルパス名

「 -param1 \${phone_number} 」がパラメータとなります

※ プログラムファイルパス名はダブルクォーテーションで囲んで下さい

コマンドの埋込対象文字列(\${phone_number}等)に着信情報を埋め込み実行します

コマンド内に埋込対象文字列が存在しない場合は、コマンドライン連動を行いません

4.2.1.2.1 コマンドプロンプト非表示

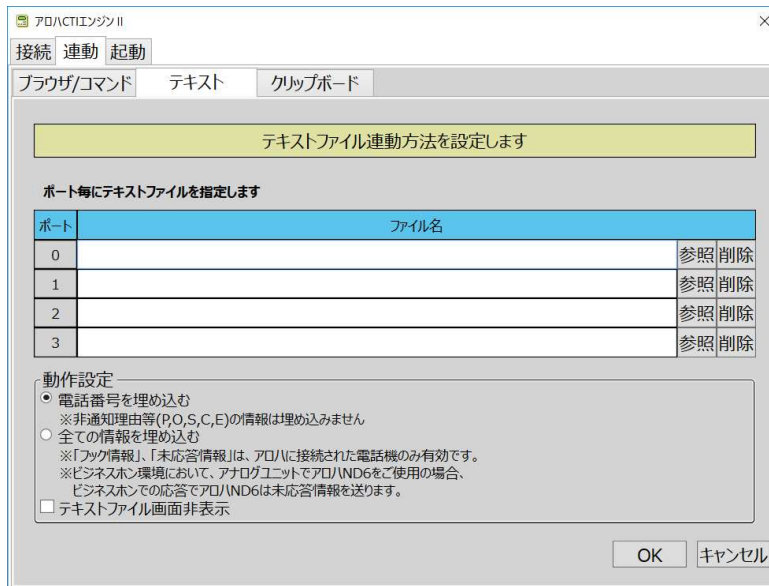
コマンドライン連動を行う場合に、コマンドプロンプト画面を表示したくない場合、[コマンドプロンプト画面非表示]のチェックボックスを[On]にします

4.2.1.3 非通知理由設定

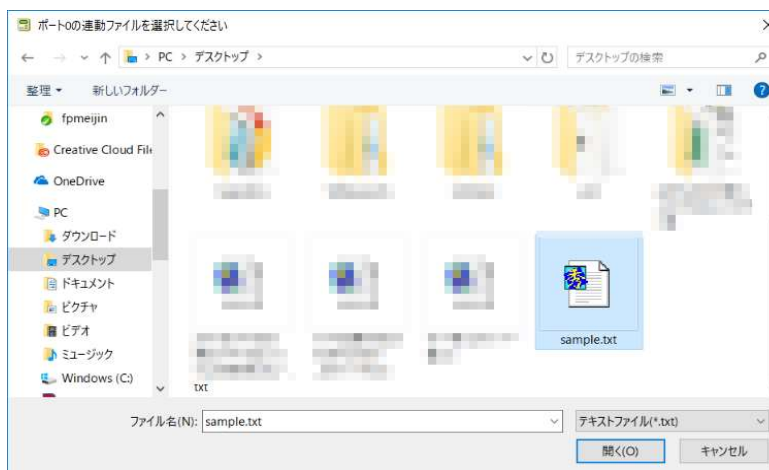
電話番号が非通知で着信があった場合に、ブラウザ/コマンドライン連動を行いたくない場合、[非通知理由等(P,O,S,C,E)は埋め込まない]のチェックボックスを[On]にします

4.2.2 テキスト

電話着信時に、指定のテキストに情報を出力したいときは、[連動]タブの「テキスト」画面にて設定を行います



指定のポートの【参照】ボタンを押下するとファイル選択ウィンドウが立ちあがりますので、出力したいファイルを選択します。



設定したファイル名を削除する場合は、指定ポートの【削除】ボタンを押下します



動作設定を変更することで、出力する内容や動作を変更することが可能です。

■ 電話番号を埋め込む

出力ファイルに、出力日付と電話番号のみが出力されるようになります

■ 全ての情報を埋め込む

出力ファイルに、出力日付と全ての情報(着信日、電話番号、オンフック、オフフック、未応答)が出力されるようになります

■ テキストファイル画面非表示

出力時に、テキストファイルを表示させたくないときはチェックボックスを [On] にして下さい

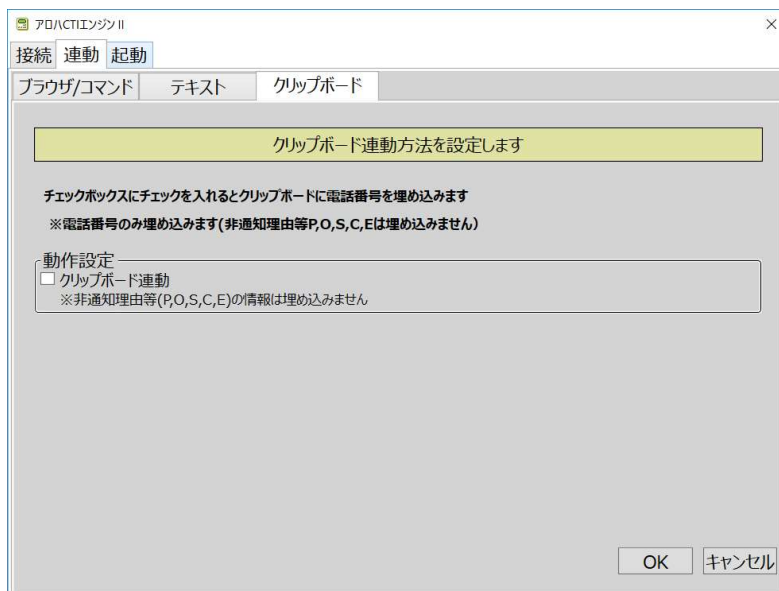
【OK】 ボタンを押下するとテキスト連動設定が保存されます

※テキストファイルへの出力内容は、1週間のみ保存されます。

※出力ファイルの内容を加工すると、警告「出力ファイルのクリーニング処理に失敗しました」表示されます。出力ファイル内容は加工しないでください。

4.2.3 クリップボード

電話着信時に、クリップボードに情報を保存したいときは、[連動]タブの「クリップボード」画面にて設定を行います

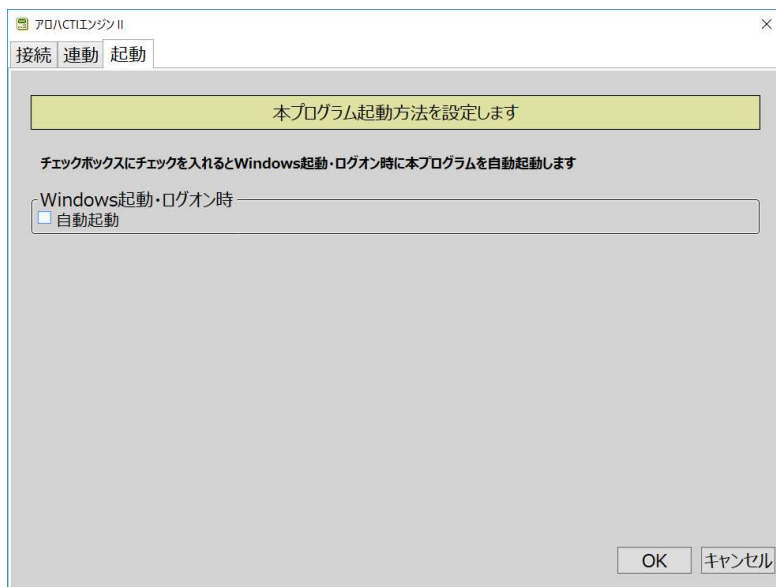


動作設定の「クリップボード連動」のチェックボックスを[On]にするとクリップボードに電話番号を埋め込みます
チェックボックスが[Off]ときは、クリップボードへの埋め込みは行いません
【OK】 ボタンを押下するとクリップボード連動設定が保存されます

4.3 起動

[起動]タブでは、Windows 起動時に、アロハ CTI エンジン II を起動するかどうかの設定を行うことができます。

【自動起動】のチェックボックスを[On]にして、【OK】ボタンを押下するとWindows 起動時に自動で、アロハ CTI エンジン II のアプリが起動するようになります



5 接続するハード機器「アロハ ND5 又は ND6」による機能比較

(1) 引渡し可能な CTI 情報

CTI 情報	書式	内容	アロハ	
			ND6	ND5
電話番号（非通知理由等）	\${phone_number}	電話番号（P, O, S, C, E）	○	○
管理コード	\${id_number}	固有番号	○	×
オフフック情報	\${off_hook}	OF	○	×
オンフック情報	\${on_hook}	ON	○	×
未応答情報	\${un_res}	UR	○	×

(2) 連動機能

CTI 連係機能	連動内容	アロハ	
		ND6	ND5
ブラウザ連動	指定 URL に CTI 情報を埋込みブラウザに引き渡します	○	○
コマンドライン連動	コマンドラインで CTI 情報をパラメータとして引渡します	○	○
テキスト連動	指定したテキストファイル, txt に CTI 情報を書き込みます	○	○
クリップボード連動	クリップボードに CTI 情報を書き込みます	○	○

(3) その他機能

項目	機能概要	アロハ	
		ND6	ND5
接続	アロハ 4 台(4 回線)と PC1 台	○	○
管理コード	表示/登録/変更	○	×
自動時刻設定	USB 接続時及び 24H 毎にアロハ ND6 の時刻設定する	○	×
自動起動	Windows 起動時に本プログラムを自動起動するかの選択	○	○

6 動作環境

OS : Windows 10/8.1/7

CPU : Corei3 以上推奨

メモリ : 8GB 以上を推奨

ハードディスク : 100MB 以上の空き容量を推奨

画面解像度 : XGA (1024×768)

アロハが接続できる環境 : USB ポート

.Net Framework4.5 及び VC++ のランタイムがインストールされている PC